

令和元年度 全国学力・学習状況調査 大阪市の結果

《令和元年度の平均正答率(%)》

小学校

	国語	算数
大阪市	58 (19)	65 (15) [※]
大阪府	60	66
全国	63.8	66.6
全国との差	-5.8	-1.6

※小学校算数は目標達成

中学校

	国語	数学	英語
大阪市	70 (18)	57 (19)	54 (18)
大阪府	70	58	56
全国	72.8	59.8	56.0
全国との差	-2.8	-2.8	-2.0

《参考 平成30年度の平均正答率(%)》

小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
大阪市	66	51	62	49	55

中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
大阪市	74	58	63	44	63

※小学校・中学校「理科」と中学校「英語」は3年に1度の実施

平成30年度の全小中学校の取組と結果

指導主事等による学校サポート訪問

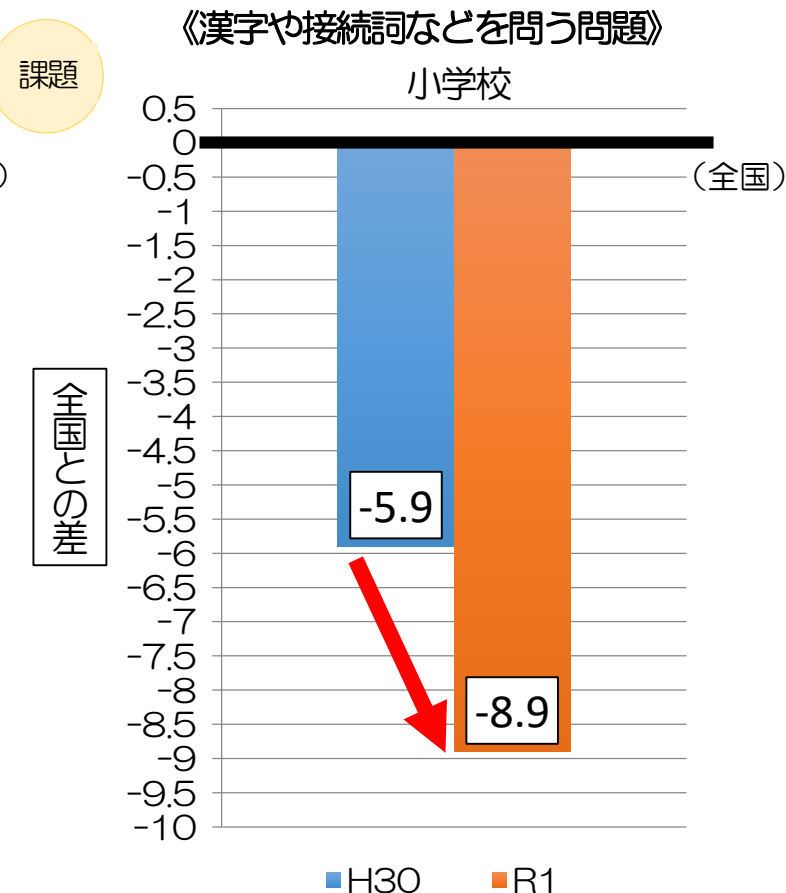
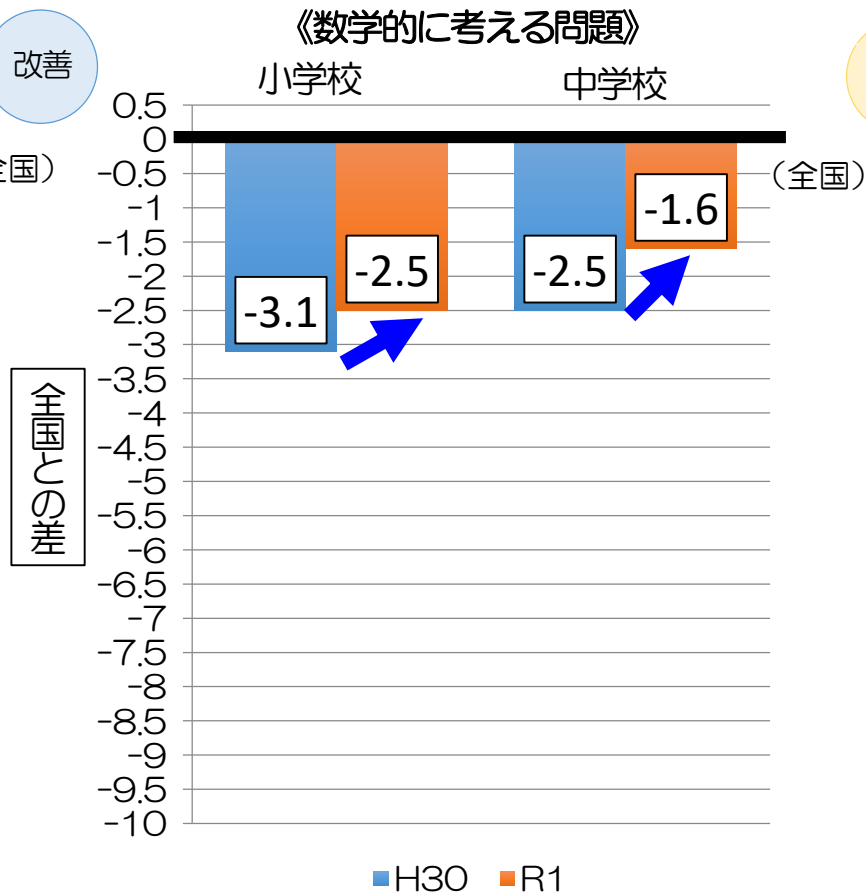
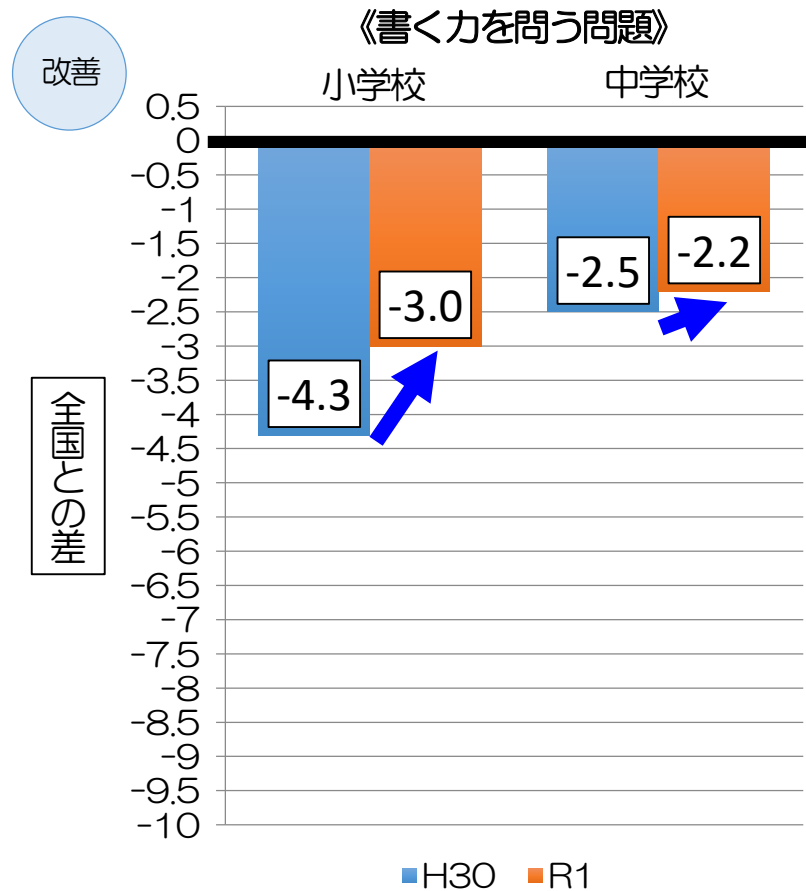
(10月～1月 全小中学校を訪問)

- 各種学力調査の結果分析を通して、各学校の強みや弱みを具体的に示しながら改善に向けた方策や取組への指導助言

振り返りプリント

(10月～3月 全小中学校で3回実施)

- 各種学力調査からみえた大阪市の課題
 - 国語：「書く力」
 - 算数・数学：「数学的に考える力」
- これらの課題解消に向け教育委員会が作成する復習プリントの実施



(H30・R1年度で、「評価の観点(小中学校国語:「書く能力」、小学校算数:「数学的な考え方」、中学校数学:「数学的な見方や考え方」、小学校国語:「言語についての知識・理解・技能」)の区分における平均正答率において、全国との差を算出)

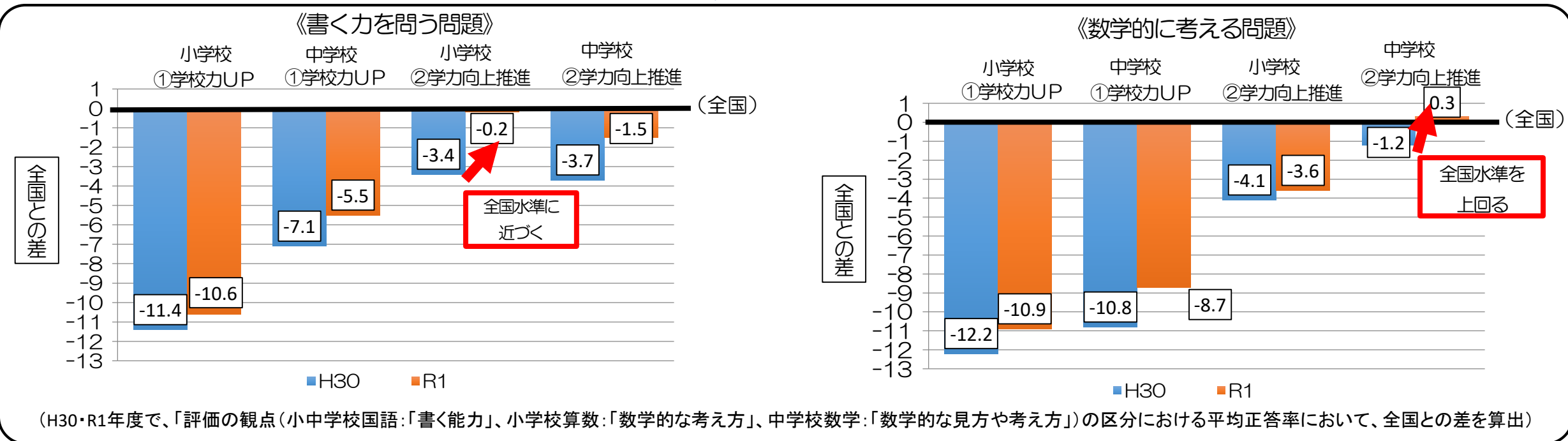
これまでの重点的な取組と結果

①学校力UP支援校（小中70校）

「学校力UPコラボレーター」（週2日 or 3日）を配置 → ・個々の学校の課題に応じた支援

②学力向上推進モデル校（小中のべ80校）

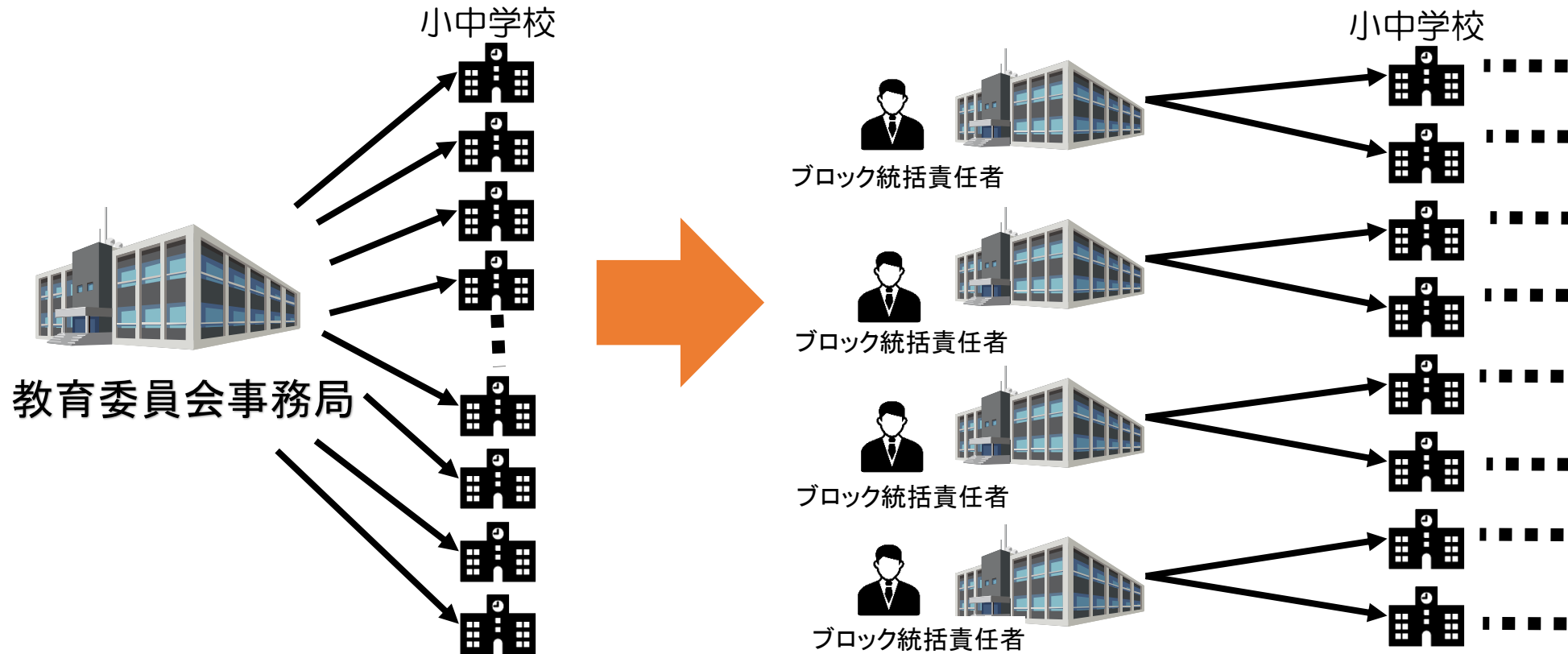
「学力向上推進指導員」月2回程度訪問 → ・各種学力調査の分析 ・授業改善へのアドバイス



実効性のある取組を、より丁寧に行うことが必要

今後の方向性

取組を継続するとともに、抜本的に組織改革を行い
エリアごとの実情や学校ごとの状況に応じたきめ細やかな支援策の展開



今後の取組

- 学校や地域ごとの実情や課題に応じた支援策を実施
- 学校現場にとって身近で相談しやすい教育委員会